



みんなの「なんな一の?」を伝えるこども記者のための新聞(毎月1回発行)



# 信毎こども記者ニュース

発行/  
連絡先

こども記者クラブ(信濃毎日新聞)

〒380-8546

長野市南県町657

TEL 026-236-3110

FAX 026-236-3193

電子メール t-chiiki@shinmai.co.jp

no.83

## 縄文撮って取材した

信毎こども記者クラブは5月29日、取材教室「縄文を撮ろう」を茅野市尖石縄文考古館一帯で開きました。国宝土偶の「縄文のビーナス」「仮面の女神」をはじめ、たくさんの縄文時代の品々や、近くの与助尾根遺跡に復元されたたて穴住居をカメラで撮影。館長の守矢昌文さんに取材し、写真のコツは信毎元写真部長の増田今雄さんから教わりました。

### 守り神のようなそんざい

長田桃花記者 茅野市4年



尖石縄文考古館には2つも国宝土ぐうがあります。平成7年に国宝となった「縄文のビーナス」と、平成26年に国宝になった「仮面の女神」です。こわされる土ぐうが多い中で、この2体は守り神のようなそんざいだったのでこわされなかったと考えられています。

### ふくらんでいるおなか

原弓琴記者 上田市6年



縄文のビーナスを撮りました。増田先生が、左や右、低い角度から撮るといいと教えてくれて、そのヒントにしたがって横から撮ってみました。おなかの部分がふくらんでいるのは「妊娠しているから」と守矢館長が言っていて、「分かるんだ!」とびっくりしました。



横から見ると、おなかの大きさが分かります

### 一步前へ勇気もらった

児玉佳月記者 飯山市5年



縄文のビーナスは妊娠した人がモデルなので、おなかが大きくつきだして、腰も大きくふくらんでいます。女性にとって出産は命がけのことなので怖かったと思います。昔の人はビーナスの足が一步前に出ている姿を見て、勇気もらったのではないのでしょうか。

### 土偶はミステリアス!

櫛原日向記者 木曾町5年



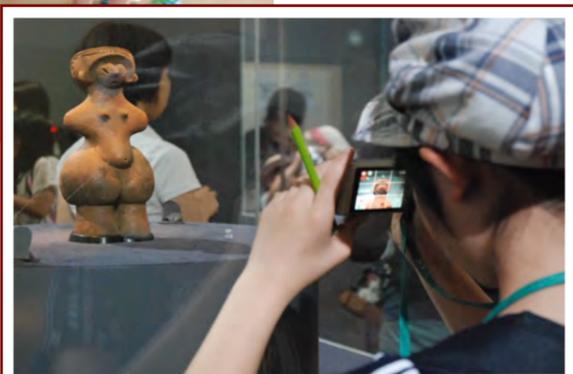
土偶がつくられた目的は安産や子孫繁栄を願ったものとされます。でも本当のところは分かりません。土偶にはミステリアスなぞがかくされていて面白かったです。どうしてほとんどの土偶がこわされていたのかが一番不思議で、もっと調べたいと思いました。



縄文のビーナス、仮面の女神のレプリカと

へびの形の付いた土器も

角度を考えて、少し下から見上げるように撮影。右足が少し短いのが分かるかな



### 土器にへびの形 なぜ?

田畑風音記者 南箕輪村6年



土器にへびの形が付いたものがある理由を、守矢館長に教えてもらいました。一つは、へびはネズミを食べるので「ネズミに食料を食べられないように」ということです。二つ目は、へびはたくさん子どもを生むので「神様のように思われていた」からだそうです。

### 赤ちゃんのお風呂かど...

浜野杏記者 南箕輪村2年



なにかわからなかったから、かん長さんにきいてみました。「これは石うすだよ」とおしえてくれました。よこはばは50センチくらいでたては70センチくらい。それほど大きかったので、さいしよは赤ちゃんのお風呂だとおもいました。「石うすなの?」とびっくりしました。



←食べるために木の実をすりつぶした石うす (浜野杏記者撮影)

### じょうものふくすずしそう

小関朱音記者 御代田町1年



じょうものふくは、カラムシというしよくぶつのはっぱとくきからつくられたとかがえられているそうです。ひとつひとつあんでいくので、どのくらいかかってつくれるのかわかりません。でも、カラムシでつくったふくはずしそうで、ほしくなりました。

### 黒よう石からつくられたやり

小関そら記者 御代田町4年



動物をつかまえるために道具があります。「やりさきがたせんとうき」という名前で、(縄文時代より前に)黒よう石からつくられたと聞いてびっくりしました。イノシシのおいこみりょうとかにつかっていたそうです。今の時代でもつかってみたいと思いました。



仮面の女神の仮面は正面から見ると正三角形です

←縄文の服はこんな感じ?

